



庄原市長  
滝口 季彦

新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆さんには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げますとともに、平素から市政運営に対する温かいご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。



庄原市議会議長  
ハ谷 文策

庄原市議会を代表し、謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
市民の皆さんには、平素から議会活動に対し、格別のご理解とご支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

# 本格化した事業で大きな成果を

近年、国の構造改革がもたらした都市と農村の格差拡大が指摘されておりますが、昨年は、地方の声を反映された歴史的・象徴的な参議院選挙の結果を受け、わずか1年で安倍内閣が退陣、「背水の陣内閣」として福田内閣が誕生するなど、政局の面でも極めて激動の1年でございました。また、都市偏重の構造改革は、本市の行財政運営に大きな影響を及ぼしており、歳入の大きなウエイトを占める地方交付税の不透明な状況のみならず、地域内における景気回復の遅れや経済活動の停滞など、地域間格差をあらゆる場面で実感しております。

さて、庄原市は合併して3回目の新春を迎えました。人と地域が輝き、美しい日本のふるさとを構築する「げんき」と「やすらぎ」のさとやま文化都市」を将来像に掲げておりますが、昨年は、戦略的構想である「みどりの環」経済戦略ビジョンの各プロジェクト事業に本格着手いたしました。農家所得の向上を目指す「儲ける農業」のモデルづくり、木質バ

イオマスの活用と新産業への展開を視野に入れた「バイオエタノール実証実験」への取り組み、ふるさと応援団や自治振興区との連携による帰郷・定住の促進事業など、いずれも本市の「あるべき姿」の実現に向けた重要施策と位置付けており、これらの事業が大きな成果を生むよう最大限の努力を傾注したいと考えております。昨年12月から、平成21年2月の完成を目指して新庁舎の建設が始まりました。これまで本庁の課が分散し、市民の皆さんには大変ご不便をおかけしておりますが、今しばらく、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、地域情報化に関しましては、全世帯で高速通信サービスの利用を可能にするブロードバンド接続環境の整備など、早期に具体的な取り組みを進めたいと考えております。

今後とも、厳しい行財政環境の中ではございますが、「人口の減少」「基幹産業の衰退」「財政状況の悪化」など、深刻な諸問題を克服し、地域の活性化を図り、魅力ある庄原市を築くため、多くの

市民の皆さんの参画をいただきながら、更なる前進を続けてまいります。新しいまちづくりには、一体感の醸成のみならず、自治振興区をはじめとする市民の皆さんとの信頼・連携が不可欠であり、「協働と補完」、「自らの地域は、自らが守り、自らが創る」という住民自治の意欲と実践が本市発展の大きな基盤となるものと考えております。

各自治振興区では、市民の皆さんの発想や力で「地域の夢をカタチ」にする地域づくり活動が活発化しており、「市民が主役」のまちづくりが定着してまいりました。今後、住民自治活動がますます活発化し、定着することで、大きな「市民の力」となり、「ふるさと庄原」を構築する原動力になるものと確信しております。

新たな年を迎え、市民の皆さんには、夢と希望にあふれ、魅力ある庄原市を築くため、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さんのご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

# 地方の自立なくして、国の発展なし

近年、地域間格差が一段と進行し、地方の財政は危機的状況を迎えております。国の構造改革により、景気回復、雇用拡大という成果が強調されておりますが、中山間、過疎地域である地方を取り巻く環境は、人口が減少し、急速な少子高齢化が進行する中で、社会保障費が増大し、また、三位一体改革の影響で、ここ3年間の

地方の実情を訴え、関係市町と連携し、地方の自立対策を強く働きかけてまいりたいと考えております。厳しい現状の中で、西日本最大の面積を擁する庄原市は、市民の皆さんの福祉の向上と魅力ある地域づくりに鋭意取り組んでおりますが、行政の力だけではおのずと限界があります。このような中で、市民の皆さんの深いご理解のもと、市内の自治会で組織された88カ所の自治振興区をはじめ、関係機関、諸団体の皆さんが地域の特色を生かし、知恵を出し合いながら、さまざまな事業を展開されていることに對し、大きな期待が寄せられております。ここに深甚の敬意と感謝を申し上げます。

財源を有効に生かし、市民の一体感の中で、事業の厳しい選択と勇断を持って実行するという「選択・積極型事業推進」が要請されていくところであります。

地方交付税が5兆1、000億円も減少するなど、誠に厳しい状況にあります。国においては、深刻な地方の状況を真摯に把握し、真に地方が主役の国づくりに向けて、地方財政の確立、格差社会の是正に積極的に取り組み、日本全国どこに住んでも一定の生活水準が保たれ、人々が安心して暮らせる基盤をつくること、それが国の責務であると思っております。

今日、庄原市は「脆弱な財政基盤」や「少子高齢化の進行」、「衰退する基幹産業」など、克服すべき諸課題が山積しております。これら諸課題に対応しながら、市民の皆さんと協働による魅力ある地域づくりを進めるため、限られた

このような情勢のもとで、市議会の役割は益々重要になっております。今後とも、「市民の皆さんにわかりやすい議会運営」、「変革する地方行政、地方分権時代に対応した議会活動」を展開するため、引き続き調査・研究・広報活動を充実し、議会活性化に向けて積極的に取り組み、市民の皆さんの負託に応えてまいります。何卒格別のご理解とご支援をお願いいたします。

今まさに地方は、大洋の真ただ中であって、羅針盤を失った小船で荒波を進んでいるといっても過言ではありません。

引き続き、国、関係機関に対し

新しい年が皆さんにとりまして、幸多い年となりますよう、ご健勝とご繁栄を心から祈念し、新年のあいさつといたします。